

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 5 月 20 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	楊木萌

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
宮崎県串間, 幸島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
幸島実習「幸島に生息するニホンザルの食性調査」
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 4 月 16 日 ~ 平成 29 年 4 月 22 日 (7 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学野生動物研究センター幸島観察所 鈴木崇文氏
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果: 長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
今回の実習では、幸島観察所および幸島に滞在し、ニホンザルの行動観察を行った。また、最終日には都井岬を訪れ、野生ウマを観察した。
実習日程 15 日 船で大阪南港から志布志港へ 16 日 志布志から電車で日南駅へ、その後レンタカーにて観察所へ移動 買い出しや用具準備 17 日 船で幸島へ移動、フィールドワーク 18 日, 19 日 フィールドワーク 20 日 フィールドワーク後、船で観察所へ移動 買い出しや用具片付け 21 日 データ整理, プレゼンテーション 22 日 レンタカーで都井岬へ移動し、野生ウマを観察 レンタカーで宮崎空港へ、その後電車で別府へ移動 23 日 別府港から船で大阪南港へ
宮崎県串間市幸島には幸島主群とマキ群の 2 つのニホンザルの群れが生息しており、全個体数は約 90 頭である。現在主群に対しては定期的な給餌が行われているが、マキ群に対しては定期的な給餌を行っていない。給餌量はカロリー計算結果から管理されており、給餌方法は一週間に一度、大量の給餌、また夏季のみの給餌などその時々によって変化してきた。現在はほぼ毎日決まった時間 (10 時から 11 時) に大泊 (おどまり) と呼ばれる浜での麦の給餌を行っている。今回の調査では、主群とマキ群の採食行動を直接観察により記録し、二群の生息域と食性の比較を行った。また主群個体が餌付けの麦から得ているカロリーを計算し、給餌に対する依存度を考察した。
・給餌以外の採食行動観察 主群の観察は大泊にて 4 時間、マキ群の観察は山中にて 4 時間行った。直接観察法を用い、発見した個体をランダムに追跡した。GPS を用い、各群個体の採食行動を確認した地点を記録した。
・給餌時における採餌行動観察 大泊にて行われる給餌を観察し、麦の採餌行動の記録を行った。対象個体が麦をつまんで口にもっていく行動の回数を数え、一分間あたりの個数を算出した。
今回の実習は限られた時間であったため、十分なデータを集めることは困難であったが、フィールドワークを行う上での実践的知識を得ることができた点において、まだ経験が浅い我々には非常に良い経験となった。GPS を用いて、位置情報を管理しながら森林内でのフィールドワークを行う方法など、担当教官の方にも丁寧にご指導頂き、実践を通して覚

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

えていくことができた。また留学生とも同立場、同環境で実習に参加したため、日常的な英語によるコミュニケーションも鍛錬出来た。この実習を通して、幸島における一番の魅力は、飼育下ではない、野生化でのニホンザルの行動をここまで間近に観察することが出来る場所にあると強く実感した。実習で訪れた我々以外にも、イタリア、中国等の研究者が幸島で研究を行うために滞在していた、また観光客の方々が渡し船でこの島にたどり着き、野生のサルの行動を間近で観察していく姿も多く見られた。このように幸島のサルは研究資源だけでなく、観光資源としても大きな役割を果たしている事が感じられた。現在、本土と幸島を隔てる海が砂土の増加により浅くなり、幸島のサルの本土への移動が懸念されている。今後サルが及ぼしうる作物への被害など様々な問題は考えられるが、この幸島の貴重な環境が無くならないような対策を考え、これからもサルと人の共存が保たれていくことを願っている。



図 1. 森林内での調査の様子



図 2. 海岸で採食するコドモのサル

6. その他 (特記事項など)

本実習は PWS リーディング大学院プログラムの援助を受けて行いました。本実習のためにいろいろな手配をしてくださった皆様に深く感謝申し上げます。また実習中大変丁寧にご指導してくださった杉浦様、鈴木様に厚く御礼申し上げます。